



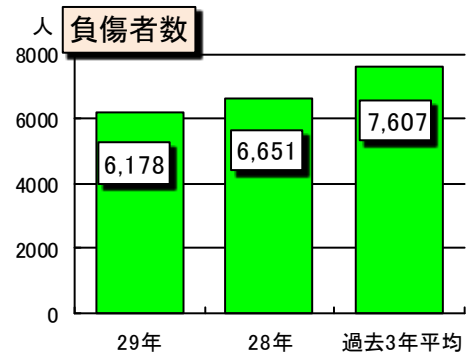
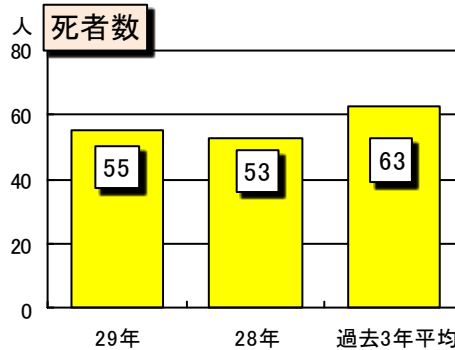
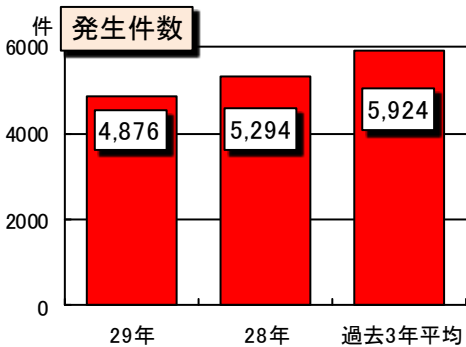
Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

グラフで見る

◆ 平成29年中の県内の交通事故発生状況 ◆

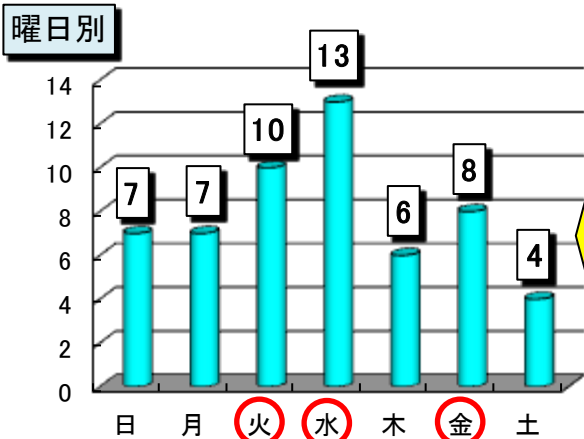
1 県内の交通事故発生状況(前年同時期との比較)



- 発生件数、負傷者数ともに減少しました。
- 年間死者55人(前年比+2人)は昨年に比べ増加しています。

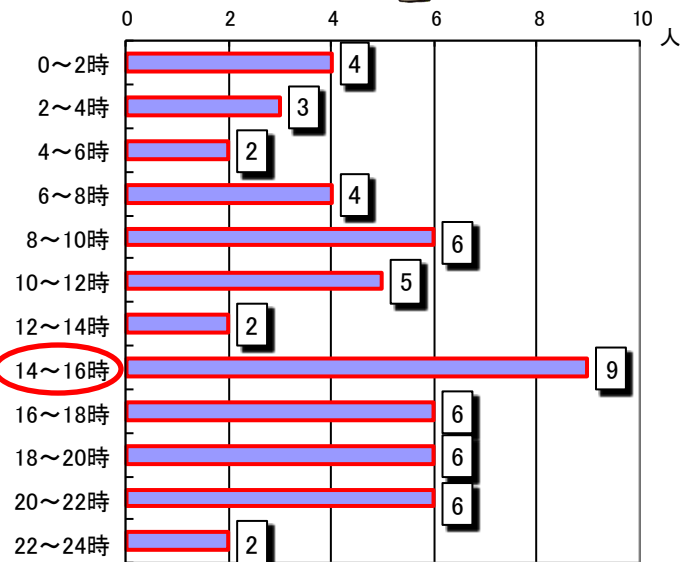


2 交通死亡事故の特徴(死者数)



平日の発生が多い!

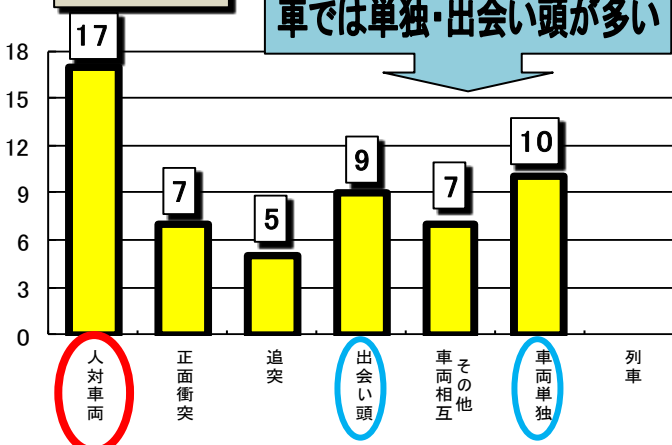
発生時間帯別



- 交通死亡事故が最も多く発生した時間帯は14~16時でした。
また夕暮れ時から夜間22時にかけての発生が多くなっています。

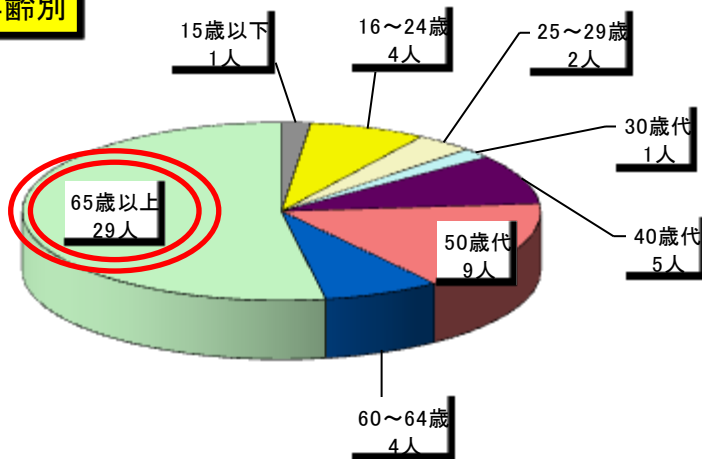
早めのライト点灯と歩行者は反射材!

事故類型別



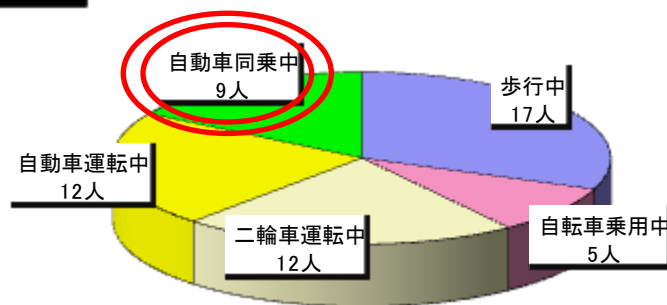
車では単独・出会い頭が多い

年齢別



● 高齢者（65歳以上）の死者が全死者の**約半数（52.7%）**を占めています。

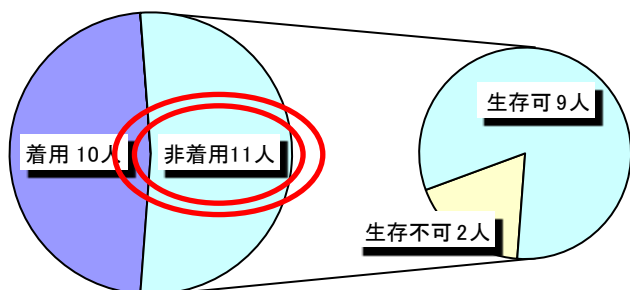
状態別



● 歩行者が17人と、全死者の**約3割**を占めており、自動車同乗者が**前年同期比+4人**と増加しています。シートベルトの着用をお願いします。

自動車乗車中の死者のシートベルト着用状況

特殊車を除く



● 自動車乗車中の死者のうち、**約半数強（52.4%）**の方が、シートベルト非着用でした。

危険

非着用が半数強！



※ 生存可とは、非着用のうち着用していれば助かった可能性が推定されるもの
生存不可とは、非着用のうち着用していても助からなかったと推定されるもの



飲酒運転等悪質危険な運転の追放
～ 飲酒運転は犯罪です！ ～



車を運転する人は、「お酒を飲んだら車に乗らない」「車に乗るならお酒を飲まない」を徹底し、周囲の人は、飲酒運転をするおそれのある人には、「車を貸さない」「お酒を飲ませない」「送迎を頼まない」ようにみんなで注意し、飲酒運転による悲しい事故を無くしましょう。**二日酔いにも注意しましょう！**

◆57倍◆

呼気中アルコール濃度が0.75mg/l以上では、死亡事故率が40%にもなり、飲酒無しでの死亡事故率(0.7%)の**57倍**にもなっています。

◆0.1◆

体内に入ったアルコールは動体視力を低下させます。ある実験によるとアルコール濃度1%のドリンク剤を1本飲んだ後、動体視力は**0.1低下**したというデータがあります

◆ひき逃げ◆

ある県では、1年間に発生したひき逃げ事件413件のうち、飲酒運転が逃走の動機だった事故は82件と全体の2割を占めました。逃走の動機のうち2番目に多い「被害が軽傷だと思った」の約**1.3倍**となっています。

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp